

テストの悩みロボットが解決！ テスト自動化ソリューション



UiPath™ Test Suite

UiPath Test Suite 3つの特長

1 **すべて自動で実行**

ブラウザ、API、モバイルなど多種多様なテストを実行、結果判定、共有まですべて自動実行

2 **開発や保守が容易**

ローコードツールのため開発・メンテナンスが容易安定性も高く Flaky なテストを防止できる

3 **既存の資産を活用**

新規に作成したテストだけでなく既存のテスト資産も再利用して自動化・自動管理が可能

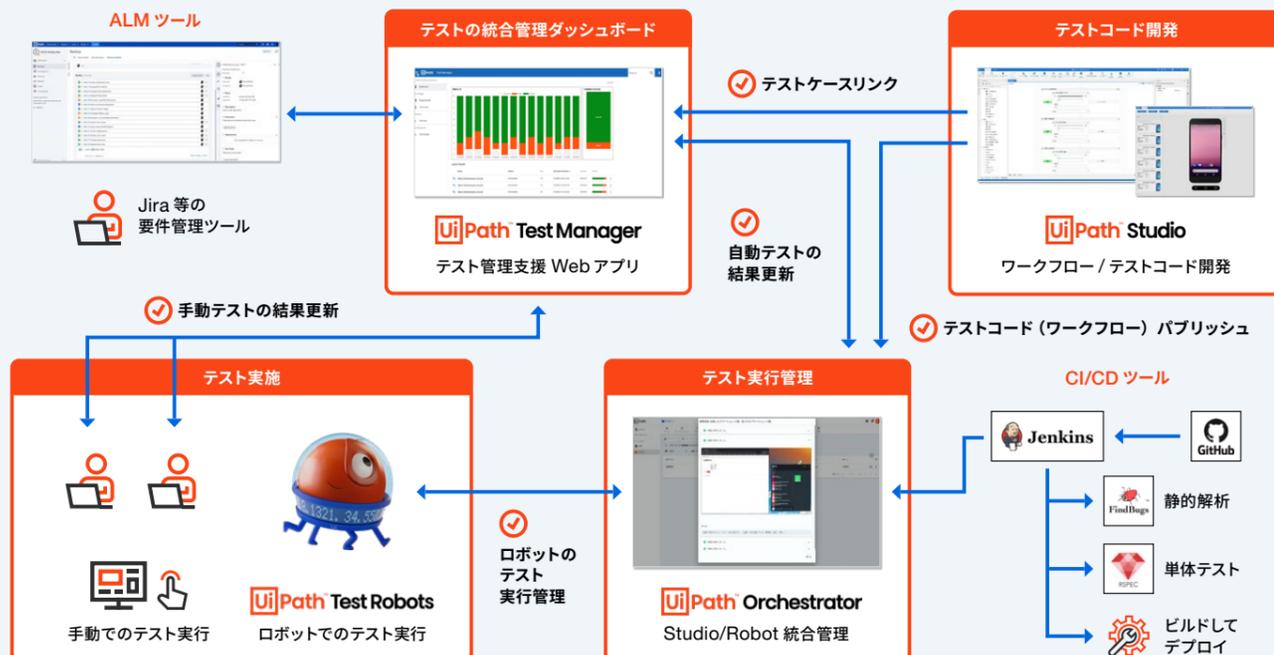


UiPath™ Test Suite

UiPath Test Suite は、RPA 由来の高い画面の操作性に加え、テスト自動化技術の知見を取り入れることで UI テスト（画面操作を伴うテスト）や E2E テスト（一連の手続きを通すテスト）などの自動化が難しく、マニュアルでは多大な工数がかかるテストの自動化を実現します。

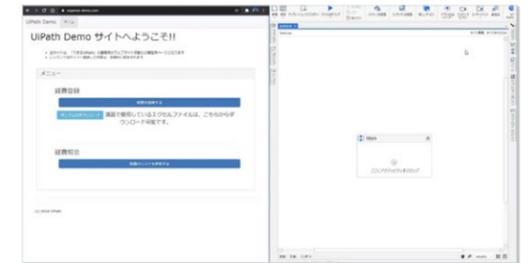
<p>UiPath Studio RPA 技術を活用した高品質テストコード開発</p>	<p>UiPath Orchestrator Studio / Robot 統合管理</p>
<p>UiPath Test Robots テストコード実行</p>	<p>UiPath Test Manager テスト設計・管理支援 Web アプリ</p>

UiPathのテストソリューション全体像



簡単なテストコード開発

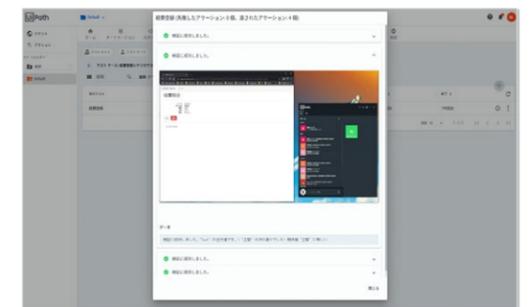
Test Suite では、Stuido を使い、簡単にテストケースを作成することができます。UiPath が長年培ってきた RPA の技術により画面のレコーディングや、ドラッグアンドドロップのような UX 体験で自動テストの実現が可能です。また SAP およびその他のパッケージアプリケーション (Salesforce、Oracle、Workday、Coupa など) のコネクタを提供しているため、さまざまなアプリケーションに対応しています。



レコーディング / ドラッグアンドドロップでの開発体験

プロジェクトに合わせたさまざまなテストの統合管理

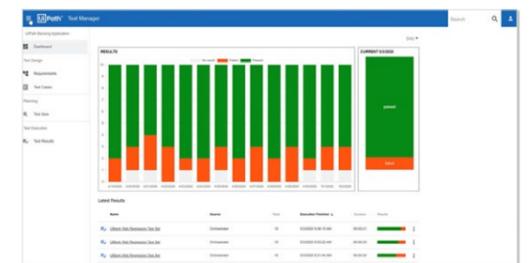
Orchestrator は、テストロボットを統合管理するためのプラットフォームです。テストケースを手動実行、スケジュール実行、またはさまざまな CI/CD ツールと連携させ、デプロイメントプロセスの中に自動テストを組み込むことができます。またその実行結果とログを統合的に確認することで、自動テストを強力に支援します。



検証時の画面キャプチャ参照可能

テスト結果と品質を一目で把握できる、テストの統合管理

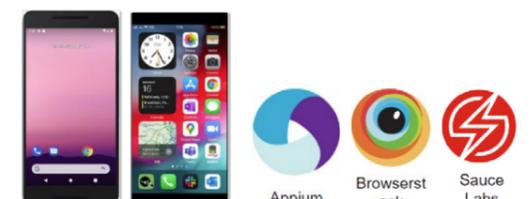
Test Manager には、テストにかかわる成功 / 失敗や、カバレッジ、自動化率など重要な指標を管理するダッシュボードが用意されています。ここでは、Studio で作成した自動化されたテストケースのみでなく、手動でのテストケースもまとめて管理できるため、テストの品質を全体的に管理する事ができます。また、Jira などの ALM ツールと連携することで今までの QA プロセスの中に、シームレスに組み込み、運用することが可能です。



Test Manager 標準レポート

さまざまなOS、ブラウザ、アプリケーションに対応

Test Suite は、あらゆるモバイルのテストにも対応しています。また RPA のコア技術により、仮想環境や仮想アプリに対してもオブジェクト認識が可能で、安定したテストの実施が可能です。1つのテストケースで、複数ブラウザや端末に対するテストを実行する事ができるので、膨大な数の組み合わせテストケースをまとめて管理できます。



Test Suite は、あらゆる自動テストのパターンをサポートします

Test Suite は、あらゆるアプリケーションや基幹システム、RPA、そしてモバイルテストも自動化可能です。

UI テスト（画面操作を伴うテスト）や E2E（一連の手続きを通すテスト）など自動化が難しく、マニュアルでは膨大な工数がかかるさまざまなテストの自動化を実現します。

自動テストパターン	リグレーションテストの自動化	モバイル動作確認業務の省力化	RPA ロボットの安定性向上	リリースサイクルの短いプロダクトの品質向上
ユーザー	基幹システムの開発保守担当者	モバイルアプリケーションの開発保守担当者	RPA 開発者	プロダクトオーナー、品質管理者
テスト対象	スクラッチ基幹システム SAP、Oracle、SalesForce など	iOS、Android などのアプリケーション	RPA ワークフロー	自社 Web プロダクト等

その他のテスト手法との比較

比較観点	UiPath Test Suite	オープンソースツール	テストサービス (BPO)	内製 (手動テスト)	
テストの信頼性	高品質で安定した自動化アセット 安定した画面認識を保ち フレーキーなテスト対策も可能	テストコードの運用は 簡単ではない	実行者の技量によって ミスやムラが発生	実行者の技量によって ミスやムラが発生	
コスト	テスト設計～ テスト実施	RPA の簡単な UX 体験により、 学習コストも低く 簡単にテスト設計が可能	テストコードを 書ける人材に限られる	必要な人材を 配備することで 内製より短縮化は可能	テスターは 24 時間 365 日 働くことは不可
	費用	テスト以外の自動化に 関するアセットや エンジニアインフラを 活用することで 費用負担が抑えられる	ツールを利用する テストコードエンジニアの コストが発生する	単体のプロジェクトとしては 費用が抑えられるが、 再活用はできない	費用構造上、内部の人員は 単純なテストでなく 高度な作業に集中させるべき
適用範囲	テスト 実施対象	PC や仮想環境上で 動かす様々なアプリケーションが 操作可能	Web アプリにのみ限られる	様々なアプリケーションが 可能だが、 社内ノウハウは貯まらない	様々なアプリケーションが テスト可能だが、俗人化する
	自動化できる 範囲	テスト計画、 実行からエビデンスの作成まで 自動化可能	テスト実行でのみ 利用可能	—	—

免責事項

・ライセンスに関しては、UiPath と締結済の使用許諾契約および、「UiPath サポート条項」と以下に記載されている内容の他、各種規約からの参照リンクが優先されます。以下 Web サイトの他、各種参考情報として公開情報の URL を記載しています。これらは、2022 年 4 月時点の情報を基にしていますが、予告なく変更になる可能性があります。

-UiPath ライセンス : <https://www.uipath.com/ja/licensing-models>

- プロダクトライフサイクル : <https://www.uipath.com/ja/product-lifecycle>

- 利用規約 : <https://www.uipath.com/ja/legal/terms-of-use>

・本資料は UiPath 製品のご利用又はご利用のご検討をされている方を対象に、情報提供を目的として提供するものです。目的外のご利用はご遠慮ください。



お問い合わせ先

貴社ご担当営業または
UiPath 認定リセラー様まで
お問い合わせください。

UiPath は UiPath 社の米国およびその他の国における商標です。

©2022 UiPath K.K.